

< 地場産農産物の加工・販売を実施している事例 >

「ノブキ」を看板に、集落揃って無理なく地域を守る

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	長野県伊那市 奈良尾			
協定面積 9.9ha	田(100%) 水稲・その他	畑	草地	採草放牧地
交付金額 208万円	個人配分			42%
	共同取組活動 (58%)	役員手当 水路農道管理費、有害鳥獣対策費 多面的機能を増進させる活動費 とんぼ生息地管理費 野路栽培田経費 事務費等		6 % 15 % 12 % 1 % 22 % 2 %
協定参加者	農業者 23人			

2. 取組に至る経緯

当集落の属する新山地区のほとんどが中山間・条件不利地域にあたり、いずれも担い手の不足・高齢化に苦悩している。特に、奈良尾集落は規模も小さく、農業だけでは十分な収入得られないため、ほとんどが会社勤めなどを中心に生計を立てている。勤めも多忙となると農業に時間も割かなくなり、農地の荒廃化が進んでいた。奈良尾集落は小規模かつ比較的まとまりがあり、この問題を共有していた。その折、中山間地域等直接支払制度が始まるという説明を受け、制度がこの集落に合っていると感じたので、集落会議を経て協定参加の合意が得られた。

3. 取組の内容

農地の荒廃化が進まないよう、耕作や保全管理、農道・水路についても可能な限り集落自力での管理保全を行っている。急傾斜かつ大きな畦畔には材木を設置し、土壌流失の予防策を講じている。有害鳥獣対策は電気牧柵設置作業を集落で行い、狩猟免許を持つ協定参加者が檻・わなにて捕獲にも取り組んでいる。

また、野路を特産化する研究を行い、平成19年から試験的に栽培・加工・販売を開始。農作業の合間に栽培した野路を、新山農産物加工場にて塩漬へ加工、これを商品として食品加工会社への販売（きゃらぶきの原料として）することに成果が上がっている。平成20年度は600kgを納品、好調であったので来年度以降増産や栽培の省力化（特に除草について）を計画している。



フキ苗の伏込み



フキの加工場塩漬作業

[集落の将来像]

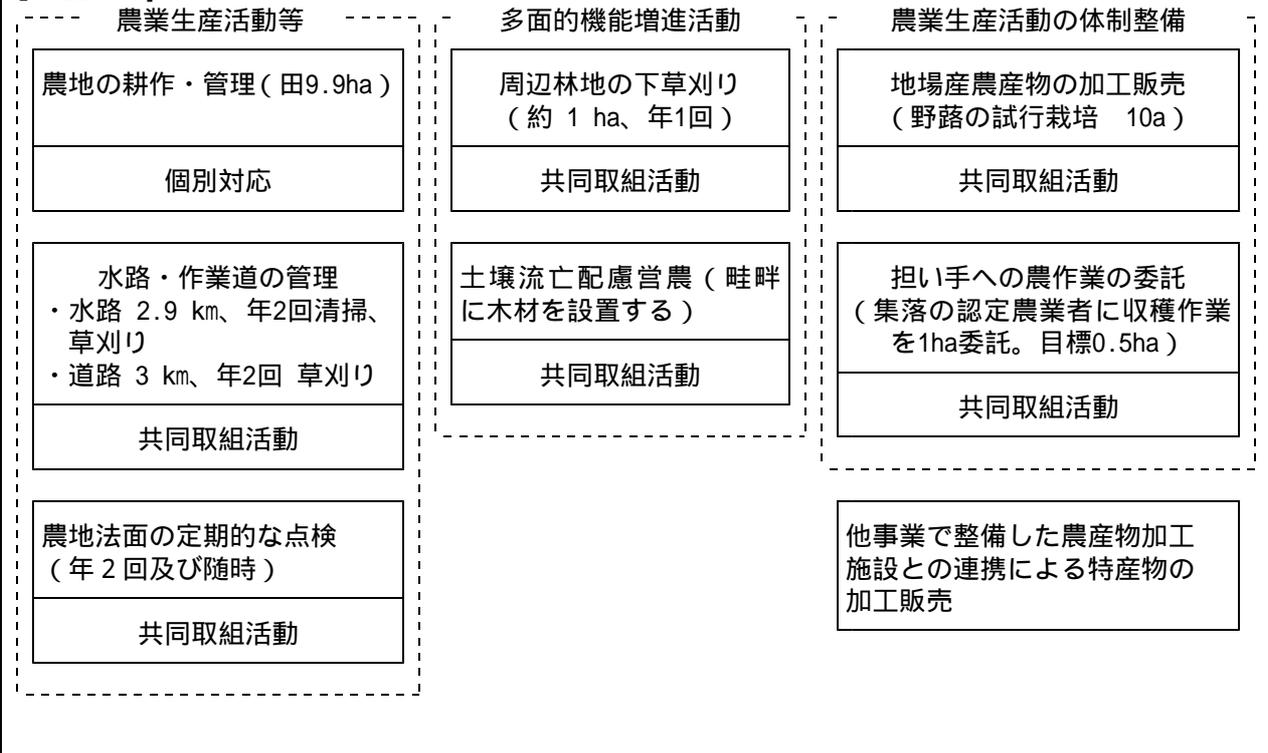
組織形態としては、集落内にいる専業農家を中心に組織を新しくする。また、近隣集落との一体化を図る。ハッチョウトンボの生息地整備・特産品の栽培・加工・販売を行うことで、内外に魅力的な集落をつくり上げていく。これらの活動は集落全体で取り組んでいく。



[将来像を実現するための活動目標]

集落内にて現況の共有、担い手の確保、特産品加工販売の研究、ハッチョウトンボ生息地の整備

[活動目標]



集落外との連携

新山協業組合

農作業の一部委託、農道水路の維持管理・畦畔草刈について一部支援してもらう

4 . 取組による変化と今後の課題等

- ・ 集落の抱える問題に対しては、自分たち自身で取り組むことが重要であるとあらためて認識。
- ・ 交付金の適正な使用を心がけることで、制度活用における責任感が生まれた。
- ・ 新しいことを進められる状態ではない。現在の取り組みを徐々に進める。

[平成20年度までの主な成果]

担い手への利用集積による体質強化 (当初0ha、目標0.5ha、H19実績1ha)

特産品の生産販売 (野路の塩漬け加工による販売H20年度600kg)

ハッチョウトンボ生息地管理

奈良尾集落の属する新山地区はハッチョウトンボの生息地として知られ、地元で構成される「新山山野草等保護育成会」が「平成20年度田園自然再生活動コンクール」において環境省自然環境局長賞を受賞するなど環境保全活動も活発である

奈良尾集落ではこれと平行して、集落独自で可能な取組を続けている。